

### **SEA マスターボール接地ブラシ**

#### **該当する装置:**

シングルまたはデュアルのマスターボールを使用する SEA システム

#### **アプリケーション:**

スピンドル エラー アナライザ

#### **サマリー:**

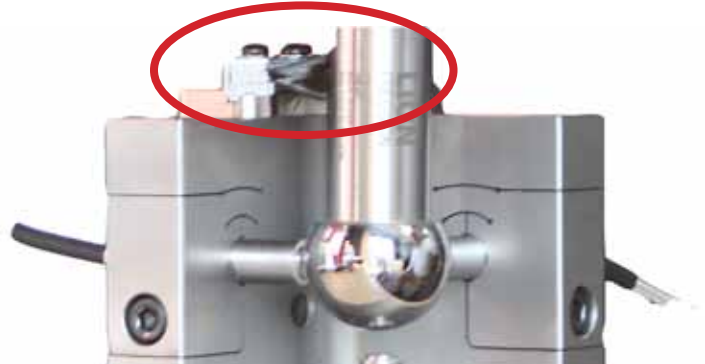
マスターボールを確実に接地する方法

## マスターボールターゲットの接地:

ターゲットが確実に接地されている場合に、静電容量センサのパフォーマンスがピークになります。ベアリングのグリースまたはセラミックや空気などの非導電性ベアリング技術によってローターと固定子の間が分離しているために、スピンドルのローターが確実に接地されないことがあります。

Lion Precision マイクロファイバー接地ブラシ アセンブリ (P017-4350) を使用すると、回転シャフトをしっかりと接地することができます。測定中も、回転シャフトが常に導電性マイクロファイバーと接触しているように、3 または 5 つのプローブ ネストにブラシを取り付けることができます。

マスターボールのシャフトが下図の通りに接触するように、ブラシを配置します。



**ブラシを取り付ける前に、まずシステムを設置し、正しく配置しておくことを推奨いたします。こうすることで、マスターボールと接地ブラシのフレームが偶然接触して、マスターボールの精密な表面を損傷させる危険性を防げます。**

1 本のネジで、プローブ ネストに既にあるネジ溝付きの穴に取り付けます。3 または 5 つのプローブ ネストに取り付けるために、さまざまな取り付け穴が用意されています。詳細は、以後のページを参照してください。

3 プローブ ネスト:



5 プローブ ネスト:

